

# 『令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨』 出水概要

令和3年7月8日18時現在



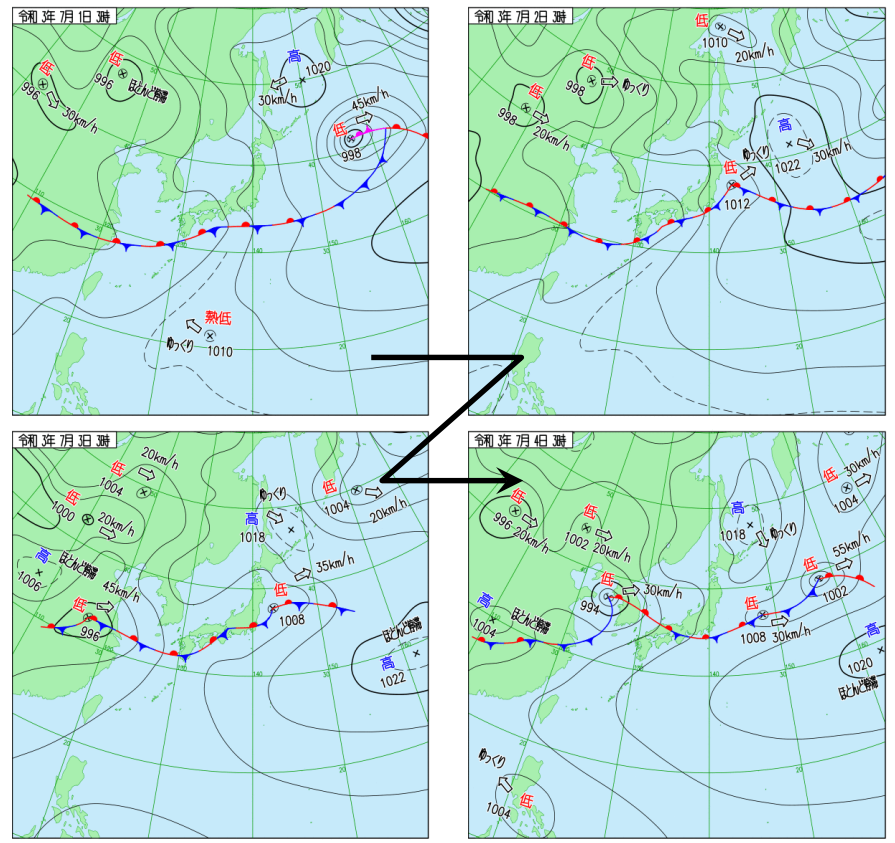
令和3年7月9日

中部地方整備局河川部

# 1. 令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨の概要

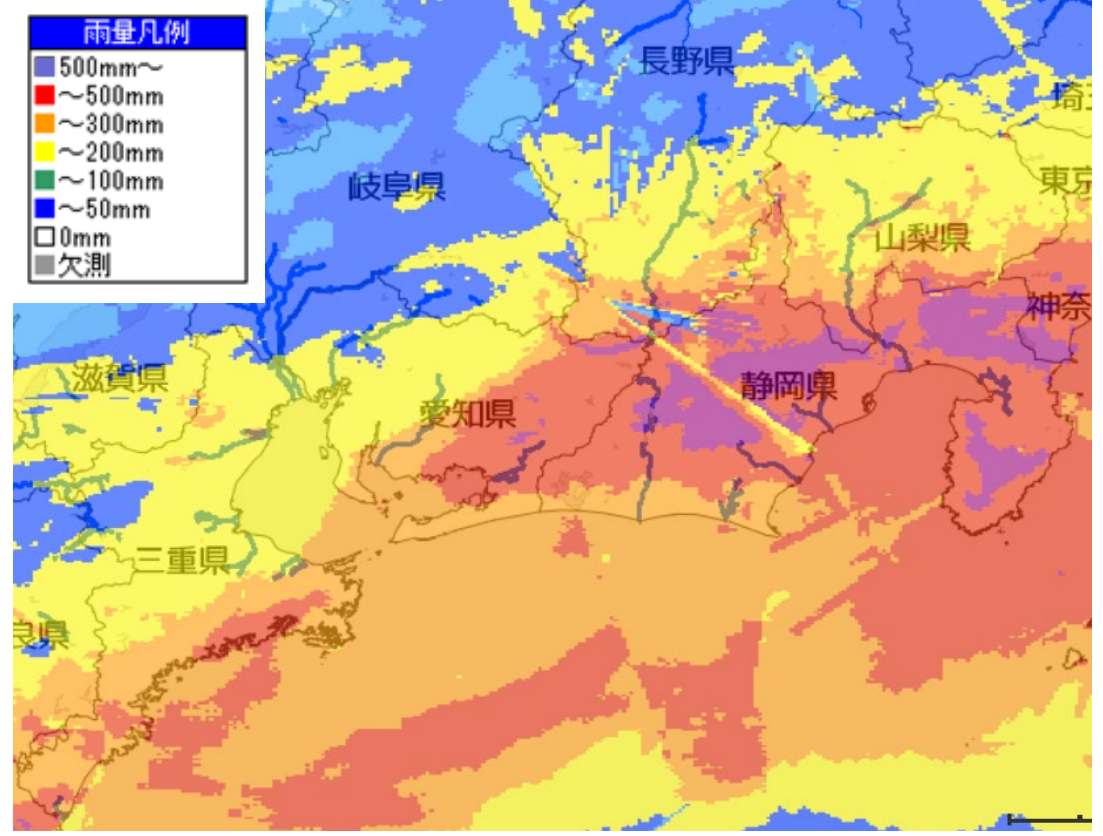
- 東日本の太平洋側を中心に、1日から3日にかけて雷を伴った非常に激しい雨となった。
- 中部地方整備局管内においては、広い範囲で降り始めからの総雨量が200mmを超過。
- 特に静岡県中部、東部及び伊豆地方では猛烈な雨となり、降り始めからの総雨量は、伊豆半島の愛鷹で721mmを観測。

## ● 天気図



(気象庁HPより)

## ● 総降水量分布図





# 3. 被災状況(河川・砂防)

- 今回の豪雨により、静岡県熱海市において土石流が発生するなど甚大な被災が発生。
- 狩野川水系黄瀬川では、県が管理する黄瀬川大橋の橋脚、橋梁が損傷、同河川の護岸の崩落などの被災が発生。安倍川水系安倍川においても河岸洗掘が発生。
- また、天竜川水系小渋ダム<sup>こしぶ</sup>の土砂バイパストンネル呑口下流付近の法面が崩落。※その他被災調査継続中

## ①熱海市における被災状況



## ④安倍川(静岡市)における被災状況



## ②黄瀬川(沼津市)の被災状況

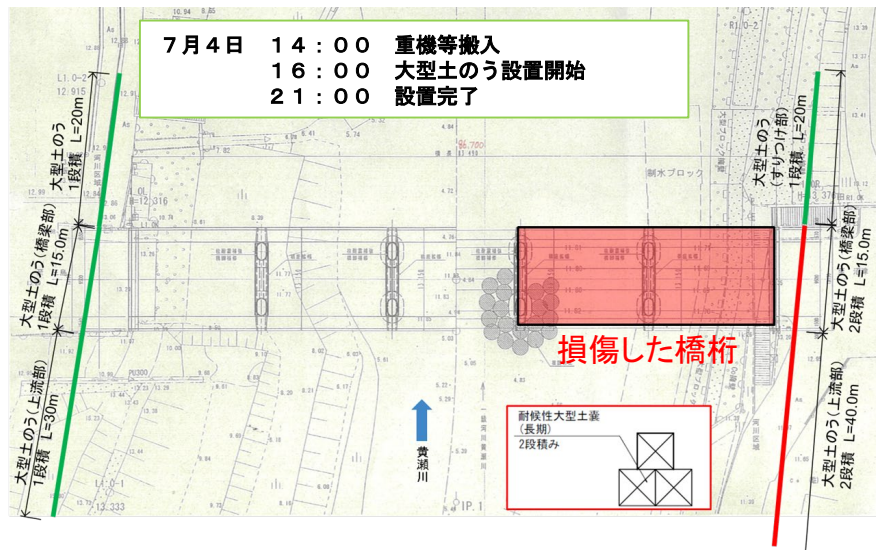


## ③小渋ダム土砂バイパストンネル呑口下流における被災状況



# 4. 被災箇所の応急対策状況(黄瀬川大橋)

○沈下した橋桁による河積阻害に伴う堰上げを想定し、3日の損傷確認後、越流防止対策として大型土のうを4日迄に設置。  
橋上流約30~40m、橋上面15m、橋下流約20m 計約65~75m 左右岸で計140m (251袋) を設置。



右岸大型土のう設置状況：黄瀬川大橋左岸上流より右岸橋桁沈下方向を望む



# 4. 被災箇所の応急復旧状況(黄瀬川)

○ 黄瀬川左岸2.6k付近のブロック積み護岸が崩落(L=約65m)し、応急復旧として袋詰め玉石工を実施中。(7月8日時点)

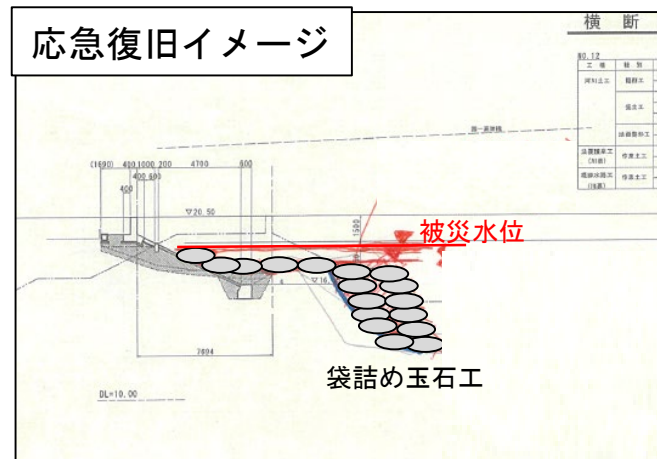
位置図



被災状況



応急復旧イメージ



被災状況



応急復旧の状況

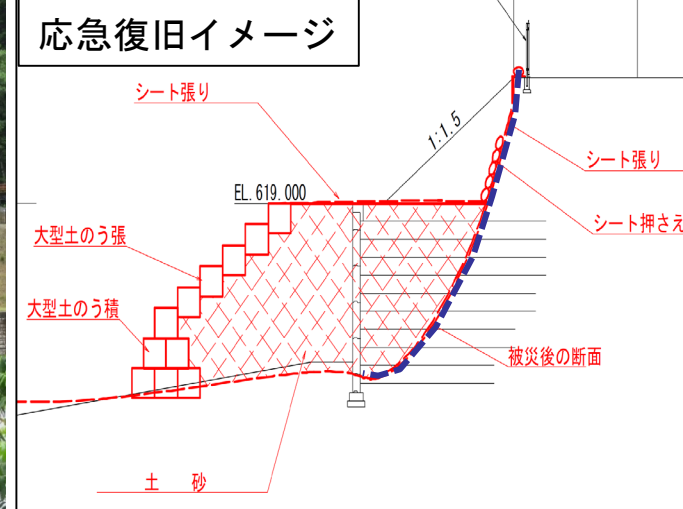


吸い出し防止材敷設

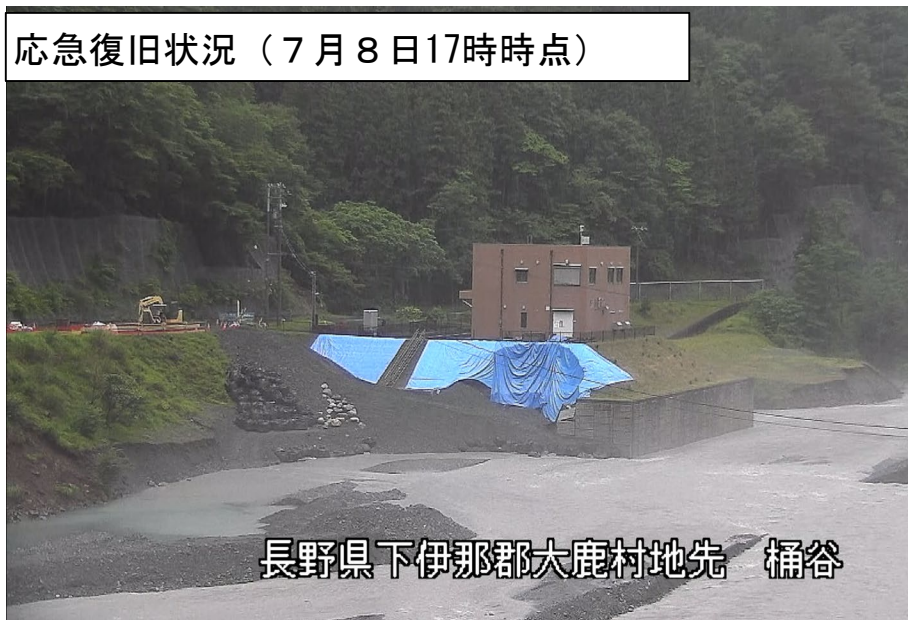


# 4. 被災箇所の応急復旧状況(小渋ダム)

- 小渋ダム土砂バイパストンネル呑口下流付近の法面が崩落し、応急復旧として大型土のうとシート張り工法を実施中。(7月8日時点)



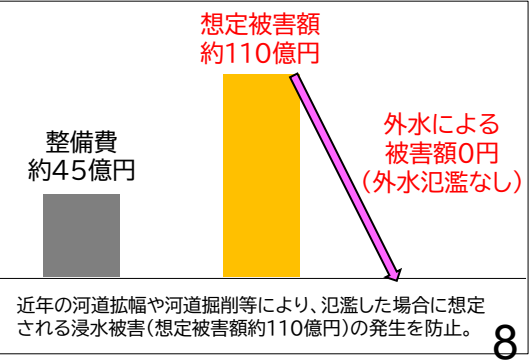
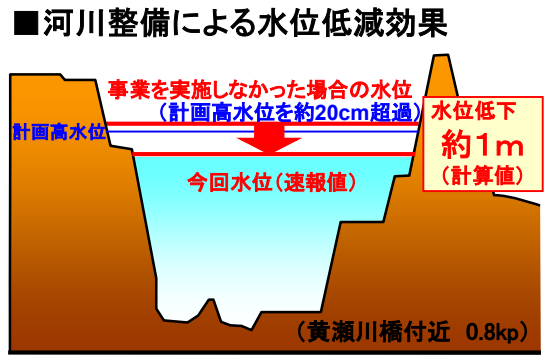
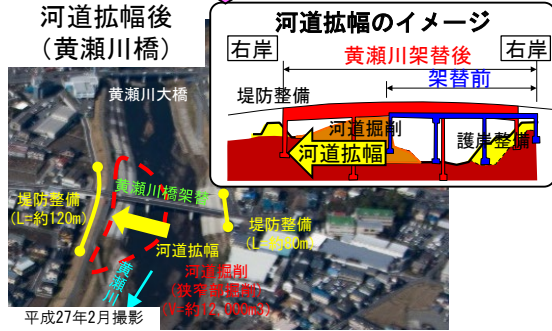
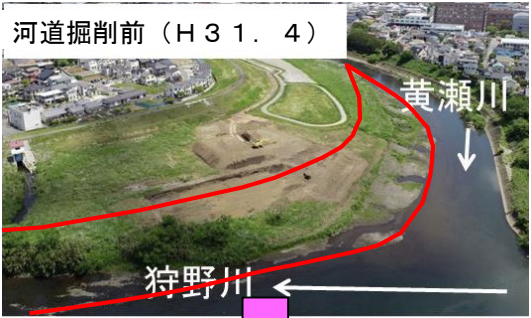
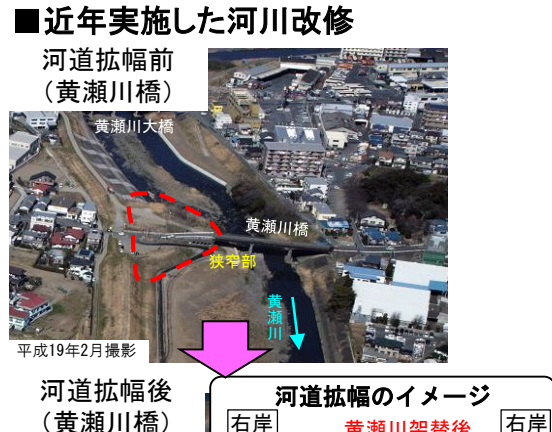
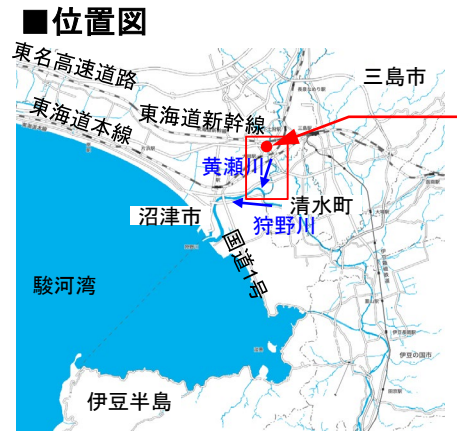
応急復旧状況 (7月8日17時時点)





# 5. 河川改修事業の効果(速報版) 狩野川水系黄瀬川

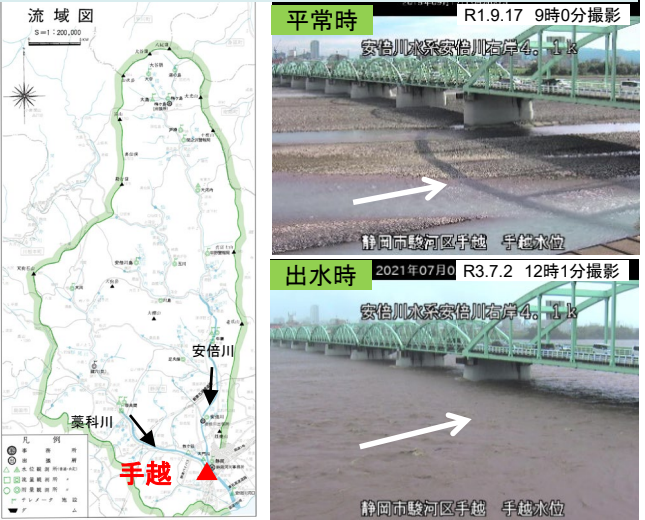
- 狩野川水系黄瀬川では、令和3年7月1日からの大雨により、愛鷹観測所において総雨量721mmを観測、本宿地点において**既往最大の1,200m<sup>3</sup>/sにせまる約1,000m<sup>3</sup>/s(速報値)**を記録した。
  - 近年の河道拡幅(黄瀬川橋)【H17~H25】や河道掘削【H30~R2】等を実施したことで、**①約1mの水位低減により氾濫を回避、②浸水被害(想定被害額約110億円)の発生を防止。**
- ※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



# 5. 河川改修事業等の効果(速報版) 安倍川水系安倍川

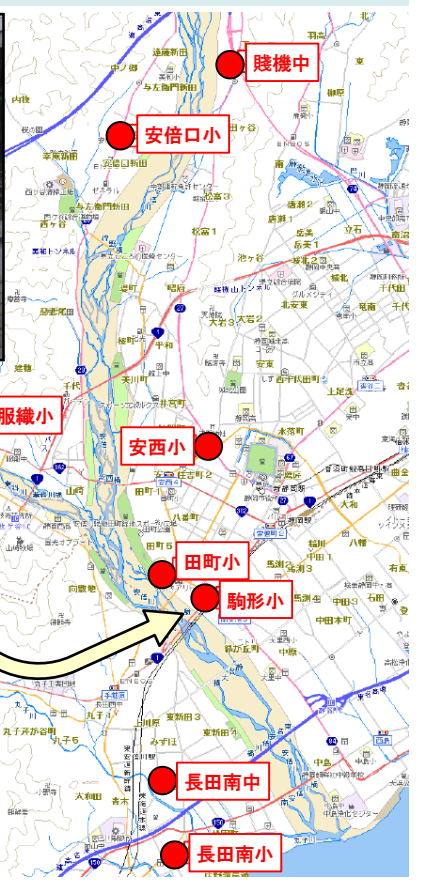
- 令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨により、静岡市など県中部では、3日午前の時点で1時間に50mmを超える雨量を観測。また、降り始め(6月30日18時)から3日午前5時までの降水量では、静岡市有東木にて422mm(アメダス速報値)を記録。
- 安倍川では「防災・減災、国土強靱化緊急3カ年対策」によりH30年度から集中的な河道掘削を実施。本対策により水位を約0.3m低下させた試算される。
- また、安倍川の流域治水プロジェクトでは、静岡市が主体となり流域貯留浸透施設の整備を進めており、既に整備済みである駒形小学校(写真)を含む、計8つの小・中学校の校庭において雨水貯留を実施し、河川への流出を抑制。

## ○出水状況(手越地点)



## ○校庭での雨水貯留(駒形小学校)

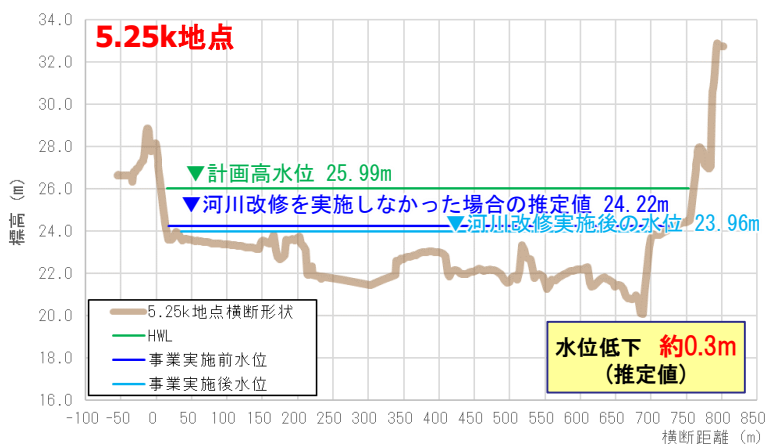
※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



## ○5km付近の河道掘削の状況(R3.3末)



## ○今回出水による水位低下効果

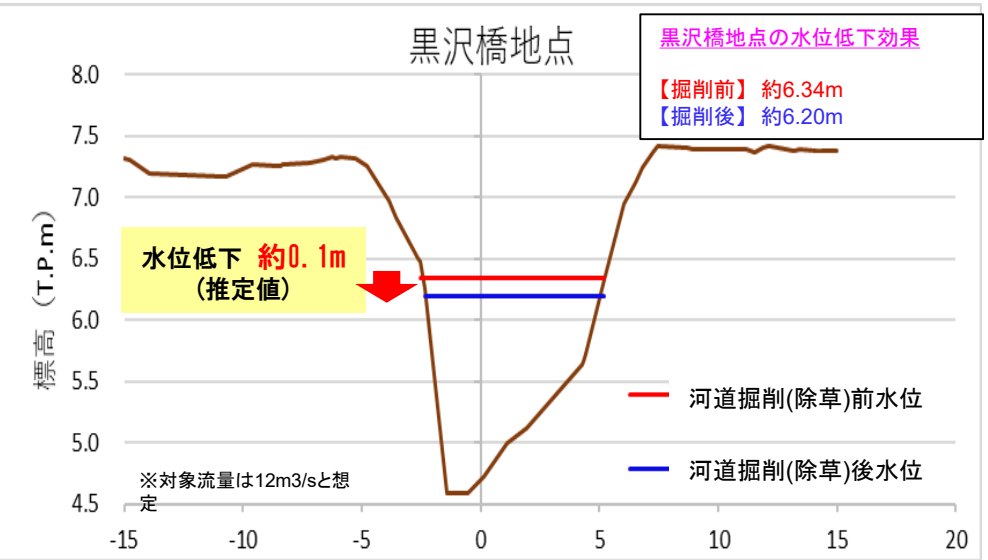
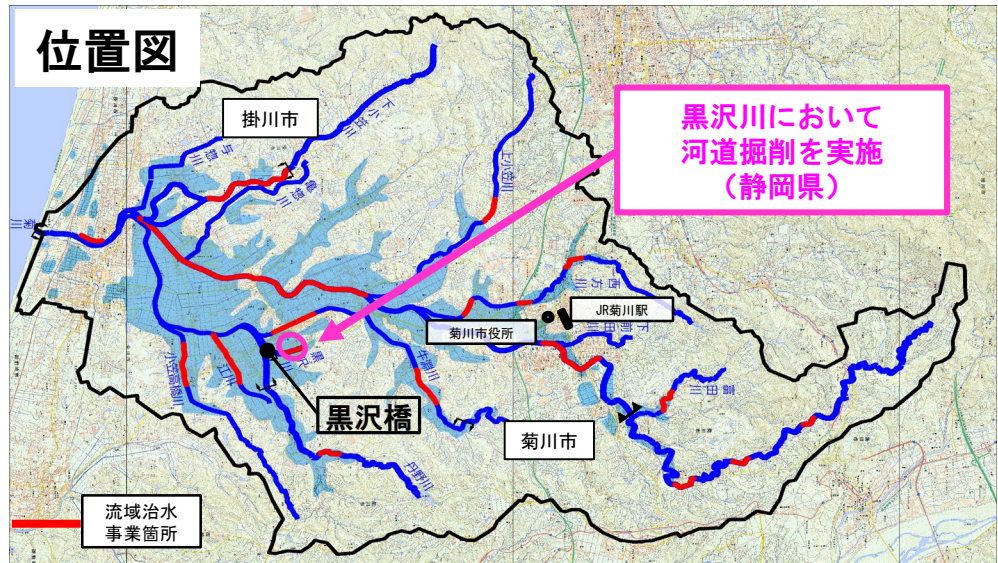


安倍川流域学校貯留【位置図】

# 5. 河川改修事業の効果(速報版) 菊川水系牛淵川

- 菊川水系牛淵川支川黒沢川沿いでは、令和元年東日本台風により黒沢川流域で浸水被害が発生したことから、国管理区間において、浜松河川国道事務所が河道掘削を実施。
- その後、策定された菊川水系流域治水プロジェクトの対策として、静岡県袋井土木事務所が「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」により河道掘削を実施。国と県の対策により水位を約0.1m低下させたと試算される。

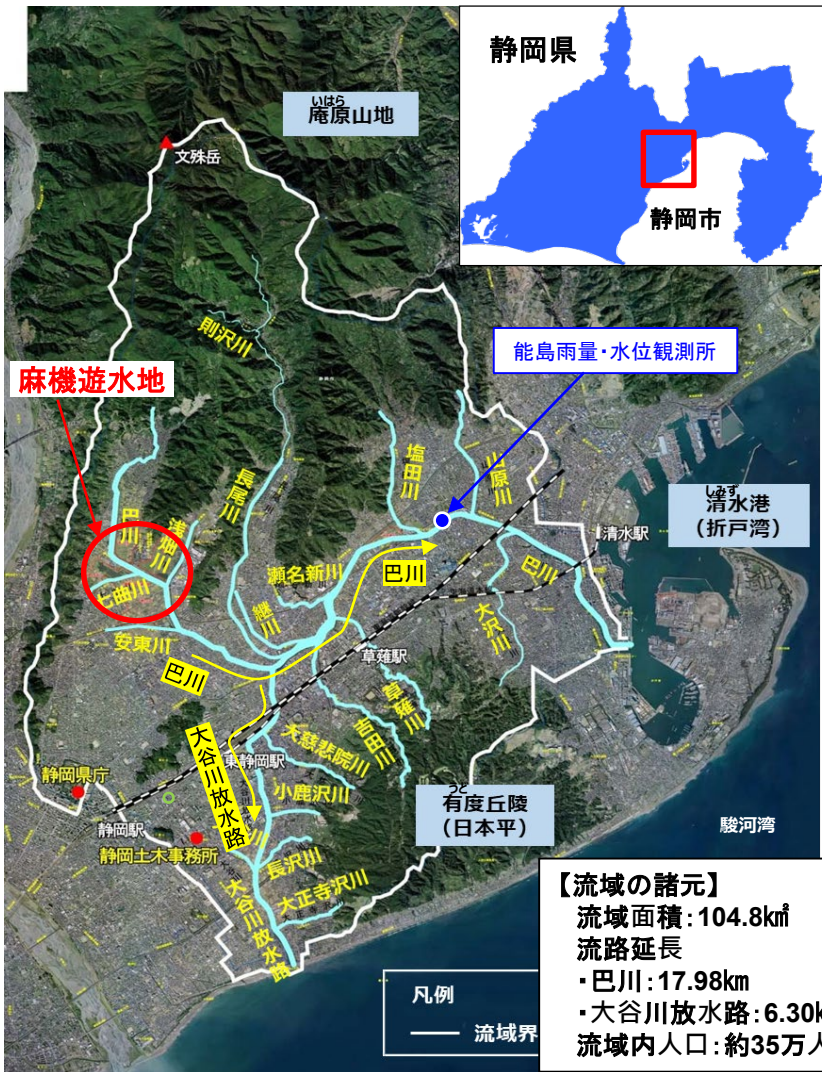
※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



# 5. 河川改修事業の効果(速報版)

## あさばた 麻機遊水地 巴川水系巴川

○令和3年7月1日から3日にかけて静岡県中東部を中心に豪雨が発生し、能島雨量観測所では、累加雨量354mm(7月1日1:00~3日12:00)を記録。  
○特定都市河川に指定されている二級河川巴川流域では、巴川の上流部に遊水地の整備を進めており、令和3年3月には現在整備中の第2工区で暫定供用を開始し、今回の出水においても下流に流れる水の量を軽減。

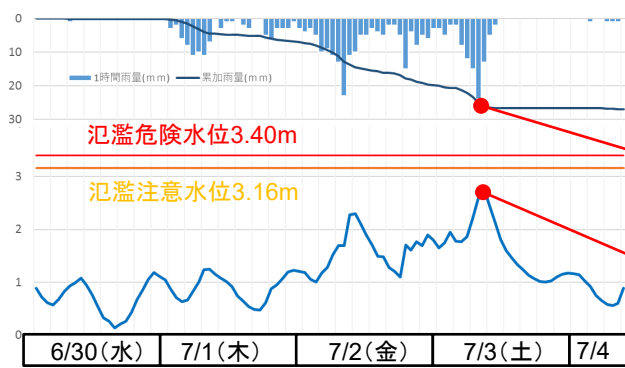


**今回降雨  
貯留量(速報値)  
約85万m<sup>3</sup>**

遊水地(第2工区)への越流状況(令和3年7月3日)



降雨量・河川水位の状況



**【能島雨量観測所】  
総雨量: 354mm**

**【能島水位観測所】  
最高水位: 2.84m**

# 6. 自治体等への支援の状況(リエゾン・ホットライン)

- リエゾン（情報連絡員）を地方公共団体に派遣し、地方公共団体との情報共有を強化するなど防災対応の支援を実施。（延べ31人）
- 避難勧告等の発令にあたり緊急時に市町村長が行う状況判断に役立つよう、各種情報についての解説、今後の見通し等を河川管理者等から直接市町村長などに助言するホットラインも実施。（6水系19市町村 計53回）

**■豊橋河川事務所**

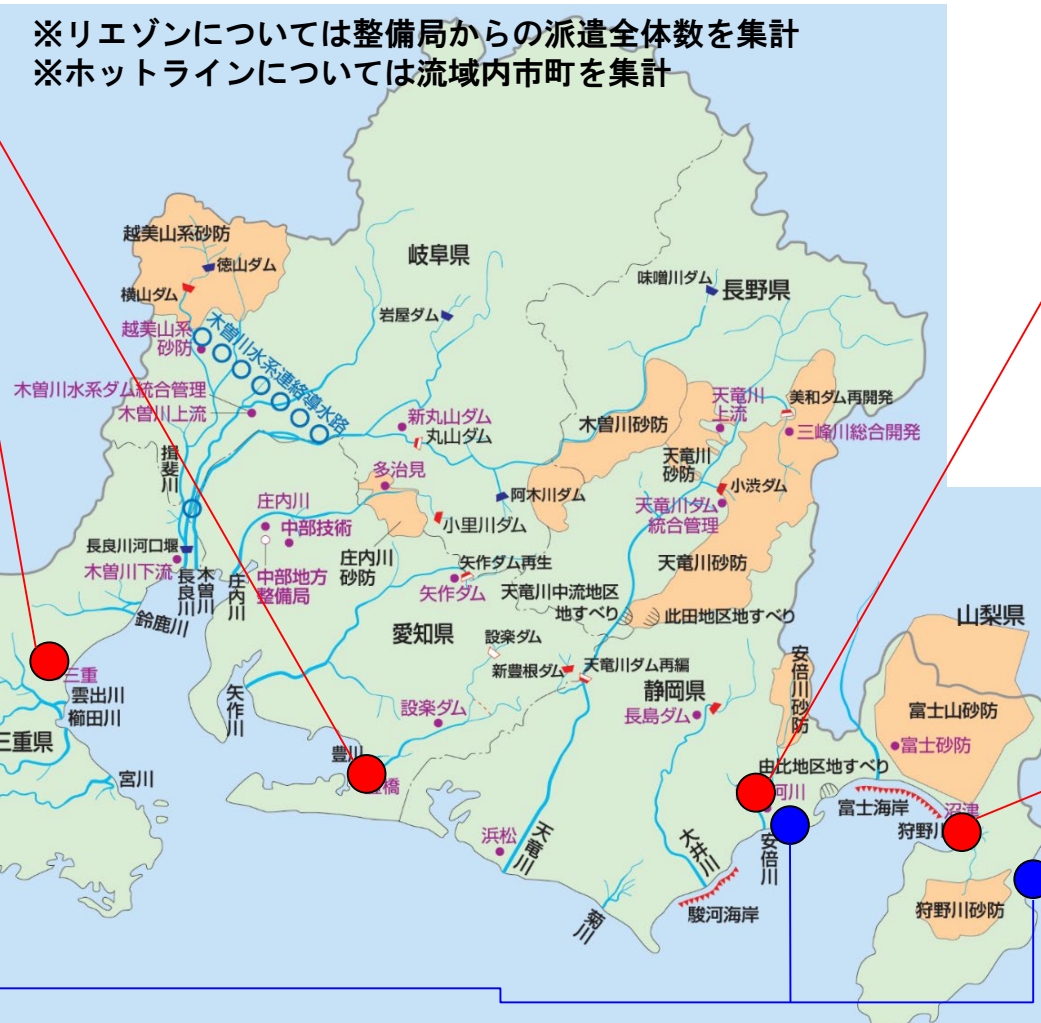
水系	市町村	回数
豊川	とよかわし 豊川市	2
豊川	しんしろし 新城市	1
矢作川	おかざきし 岡崎市	1
計		4

**■三重河川国道事務所**

水系	市町村	回数
鈴鹿川	よっかいちし 四日市市	2
計		2

**■リエゾン**

派遣先	延べ人数
熱海市	12
静岡県庁	18
熱海土木事務所	1
計	31



**■静岡河川事務所**

水系	市町村	回数
安倍川	しずおかし 静岡市	1
大井川	ふじえだし 藤枝市	1
大井川	しまだし 島田市	1
大井川	やいづし 焼津市	1
大井川	まきのはらし 牧之原市	1
大井川	よしだちよう 吉田町	1
大井川	かわねほんちよう 川根本町	1
大井川	おまえざきし 御前崎市	1
計		8

**■沼津河川国道事務所**

水系	市町村	回数
狩野川	ぬまづし 沼津市	9
狩野川	ながいずみちよう 長泉町	9
狩野川	しみずちよう 清水町	9
狩野川	みしまし 三島市	3
狩野川	いずくにし 伊豆の国市	3
狩野川	いずし 伊豆市	3
狩野川	かんなみちよう 函南町	3
計		39

- 今回の大雨に伴う災害支援のため、自治体等からの支援要請に基づき、7月4日より、災害対策車両としては、照明車4台、排水ポンプ車2台、待機支援車1台、合計7台を派遣（稼働した車両）。
- また、熱海市へは、中部地方整備局から延べ43名のTEC-FORCE隊員を派遣。

### ■災害対策車両による支援状況

車両	市町村	出動数(台)
照明車	沼津市	2
	熱海市	2
排水ポンプ車	沼津市	1
	函南町	1
待機支援車	熱海市	1
計		7



照明車稼働状況(熱海市)

### ■TEC-FORCEによる活動状況

派遣する班	人数等
総括班	1班4名
ドローン調査班	2班8名
建設機械班	1班3名
砂防調査班	2班8名
道路調査班	2班6名
港湾調査班	3班9名
情報通信班	1班5名

総人数 43  
7/3~7/8



静岡県副知事との打ち合わせ



被害状況調査(熱海市)



熱海市長との打ち合わせ

※災害対策車両・TEC-FORCEとも、整備局からの派遣全体数を集計。

- 建設業、測量・コンサルタント等、県・市町、河川管理者など、多くの機関の連携した活動により浸水被害を軽減しました。

## 市町・自治体



市による排水作業  
(静岡県沼津市)

## 建設業、測量・コンサルタント等



測量業者による現地調査  
(静岡県駿東郡長泉町)



## 出水後の施設点検



ドローンによる調査  
(静岡県沼津市)



建設業者による大型土のう積み  
(静岡県沼津市)

○ 令和3年7月8日(木)、赤羽国土交通大臣が熱海市の土石流発生箇所の被災状況や避難所を視察。その後、静岡県副知事、熱海市長との意見交換を実施。

被災現場視察（逢初川源頭部）



静岡県、熱海市との意見交換（熱海市役所）

